Declaration Power of Attorney For Patent Application 特許出願宣言

0	Japanese Lan	guage Declaration	
ay o	6 2002 CO 私 ない 下欄に氏名を記載した発明として、以下の通り宣言する。	As a below named invent	or, I hereby declare that:
QUEM	ARKOTARIO ARKO	My residence, mailing adare as stated below nex	dress and citizenship t to my name,
***	名称の発明に関し、請求の範囲に記載した特許を求める主題の本来の、最初にして唯一の発明者である(一人の氏名のみが下欄に記載されている場合)か、もしくは本来の、最初にして共同の発明者である(複数の氏名が下欄に記載されている場合)と信じ、	(if only one name is li: first and joint inventor below) of the subject matt	nal, first and sole inventor sted below) or an original, (if plural names are listed er which is claimed and for on the invention entitled
	倒立型顕微鏡システム	INVERTED MICROSCO	PE SYSTEM
all all the same of the same o			
<u>4</u>) L:			/
3	その明細書を (該当するほうに印を付す)	The specification of wi	nich
	△ ここに添付する。	is attached hereto.	
C) M	□月日に	was filed on	
		as Application No.	
T.	出願番号第 号と	:LT	_ and was amended on
	提出し、月 日に補正した。 (該当する場合)	(1.0	
	(政当りの物音)	(if applicable)	

私は、前記のとおり補正した請求の範囲を含む前記明細書の内容を検討し、理解したことを陳述する。

I hereby state that I have reviewed and understand the contents of the above-identified specification, including the claims, as amended by any amendment referred to above.

私は、連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に従い、本願の審査に所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。

I acknowledge the duty to disclose information which is material to the examination of this application in accordance with Title 37, Code of Federal Regulations, Section 1.56(a).

Japanese Language Declaration

私は、合衆国法典第35部第119条、第172条、又は 第365条に基づく下記の外国特許出願又は発明者証出願の 外国優先権利益を主張し、さらに優先権の主張に係わる基礎 出願の出願日前の出願日を有する外国特許出願又は発明者証 出願を以下に明記する:

I hereby claim foreign priority benefits under Title 35, United States Code Sec. 119, Sec. 172 or Sec. 365 of any foreign application(s) for patent or inventor's certificate listed below and have also identified below any foreign application for patent or inventor's certificate having a filing date before that of the application on which priority is claimed:

私は、合衆国法典第35部第120条に基づく下記の合衆 国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の 主題が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の履棟で States Code, Sec. 120 of any United States たの合衆国出題に開示されていない限度において、先の出願の出題に開示されていない限度において、先の出願の出類日と本願の国内出願日又はPCT国際出願日の間に公表された連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記 States application is not disclosed in the prior United States application in the manner provided by the 就の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 Sec. 112 I acknowledge the duty to disclose any material information as defined in Title 37、Code of Federal Regulations, Sec. 1.56(a) which occurred between the filing date of the prior application and the national or PCT international			F	Priority Cl 優先権の主	
私は、合衆国法典第35部第120条に基づく下記の合衆 国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の 主題が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の履棟で States Code, Sec. 120 of any United States たの合衆国出題に開示されていない限度において、先の出願の出題に開示されていない限度において、先の出願の出類日と本願の国内出願日又はPCT国際出願日の間に公表された連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記 States application is not disclosed in the prior United States application in the manner provided by the 就の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 Sec. 112 I acknowledge the duty to disclose any material information as defined in Title 37、Code of Federal Regulations, Sec. 1.56(a) which occurred between the filing date of the prior application and the national or PCT international		JAPAN		_ 🗵	
私は、合衆国法典第35部第120条に基づく下記の合衆 国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の服験で 先の合衆国出願に開定されているい限度において、先の出願 の出際日と本願の国内出願日尺は早CT田郎出願日の間に公 ちされた連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記載の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 States application is not disclosed in the prior United States application in the manner provided by the disclosed in Title 35, United States Code, Sec. 120 of any United States application is not disclosed in the prior United States application in the manner provided by the first paragraph of Title 35, United States Code Sec. 12.1 I acknowledge the duty to disclose any material information as defined in Title 37, Code of Federal Regulations, Sec. 1.56 (a) which occurred between the filling date of the prior application and the national or PCT international					N な
国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の 主題が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の態様で 先の合衆国出願に開示されていない限度において、先の出願 力出願日と本願の国内出願日又はPCT国際出願日の間に公 表された連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記 載の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はの所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はのの所要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		\ /	(13,17,17)		r
国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の 注題が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の態様で 先の合衆国出願に開示されていない限度において、先の出願 力出願日と本願の国内出願日又はPCT国際出願日の間に公 長された連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記 載の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はの所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はのの可要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はのの可要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 はの可要の情報を関示すべき表別を有することを認める。 は、これに対しては、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対					
国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の 注題が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の態様で たの合衆国出願に開示されていない限度において、先の出願 力出願日と本願の国内出願日又はPC丁国際出願日の間に公 長された連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記 載の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はの所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はのの所要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はのの可能した。 はの所要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はのの可能した。 はのでは、 はのでは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はの					_
国特許出願の利益を主張し、本願の請求の範囲各項に記載の 主題が合衆国法典第35部第112条第1項に規定の態様で 先の合衆国出願に開示されていない限度において、先の出願 力出願日と本願の国内出願日又はPCT国際出願日の間に公 表された連邦規則法典第37部第1章第56条(a)項に記 載の所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はの所要の情報を開示すべき義務を有することを認める。 はのの所要の情報を開示すべき表別を有することを認める。 はののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、					
	国特許出願の利益を主張し、 主題が合衆国法典第35部第 先の合衆国出願に開示されて の出願日と本願の国内出願日 表された連邦規則法典第37				
	国特許出願の利益を主張し、 主題が合衆国法典第35部第 先の合衆国出願に開示されて の出願日と本願の国内出願日 長された連邦規則法典第37	本願の請求の範囲各項に記載の 3112条第1項に規定の態様で いない限度において、先の出願 又はPCT国際出願日の間に公 部第1章第56条(a)項に記	States Code, Sec. 120 of any Un application(s) listed below and, subject matter of each of the capplication is not disclosed in the States application in the manner first paragraph of Title 35, Uni Sec. 112, I acknowledge the duty material information as defined to the code of Federal Regulations, Secondary of the control of the code of the	ited State insofar as claims of the prior Ur provided by ted States to disclosed in Titl 1. 1. 56 (a) when of the post of the	the his nited the Code e any e 37, hich rior al

私は、ここに自己の知識に基づいて行った陳述がすべて真実であり、自己の有する情報及び信ずるところに従って行った陳述で真実であると信じ、更に故意に虚偽の陳述等を行った場合、合衆国法典第18部第1001条により、罰金もしくは禁固に処せられるか、又はこれらの刑が併科され、又はかかる故意による虚偽の陳述が本願ないし本顧に対して付与される特許の有効性を損なうことがあることを認識して、以上の陳述を行ったことを宣言する。

I hereby declare that all statements made herein of my own knowledge are true; and further that all statements were made with the knowledge that willful false statements and the like so made are punishable by fine or imprisonment, or both, under Section 1001 of Title 18 of the United States Code and that such willful false statements may jeopardize the validity of the application or any patent issuing thereon.

Japanese Language Declaration (日本語宣言書)

委任状:私は、下記の発明者として、本出願に関する一切の手続きを米特許商標局に対して遂行する弁理士または代理人として、下記の者を指名いたします。

(弁理士、または代理人の氏名及び登録番号を明記のこと)

POWER OF ATTORNEY: As a named inventor, I hereby appoint the following attorney(s) and/or agent(s) to prosecute this application and transact all business in the Patent and Trademark Office connected therewith. (list name and registration

And I hereby appoint Leonard Holtz (Reg.No. 22,974), Herbert H. Goodman (Reg.No. 17,081), Thomas Langer (Reg.No. 27,264), Marshall J. Chick (Reg.No. 26,853), Richard S. Barth (Reg.No. 28,180), Douglas Holtz (Reg.No. 33,902) and Robert P. Michal (Reg.No. 35,614) each of whose address is 767 Third Avenue - 25th Floor, New York, N.Y.10017-2023, or any one of them, my attorneys with full power of substitution and revocation, to prosecute this application and to transact all business in the Patent & Trademark Office connected therewith, and request that correspondence be directed to Frishauf, Holtz, Goodman, Langer & Chick, P.C., 767 Third Avenue - 25th Floor, New York, N.Y. 10017-2023.

書	類	送	付	先	:
---	---	---	---	---	---

-

Send Correspondence to Frishauf, Holtz, Goodman, Langer & Chick, P.C.

767 Third Avenue - 25th Floor, New York, N.Y. 10017-2023

直通電話連絡先:	Direct Telephone Calls to: (name and telephone number) Telephone No. (212)319-4900 Facsimile No. (212)644-4834
唯一のまたは第一発明者の氏名	Full name of sole or first inventor
高濱 康輝	Yasuteru Takahama
同発明者の署名 日付	Inventor's signature Date
	Yasuteru Takahama Apr. 24, 2002
住 所	Residence
日本国小平市	Kodaira-shi, Japan
国 籍	Citizenship
日本	JAPAN
郵便の宛先 日本国東京都八王子市久保山町2-3	Mailing Address c/o Intellectual Property Department, OLYMPUS OPTICAL CO., LTD.
オリンパス光学工業株式会社 知的財産部内	2-3, Kuboyama-cho, Hachioji-shi, Tokyo, Japan